

平成 16年 3月期 第3四半期業績の概況 (連結)

平成 16年 2月 10日

上場会社名 宇部興産株式会社 (コード番号: 4208 東証第1部・福証)
 (URL <http://www.ube.co.jp>)
 代表者 役職名 取締役会長兼社長 氏名 常見 和正
 問合せ先責任者 役職名 I R広報部長 氏名 泉原 雅人 TEL (03) 5419 - 6110

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : (有) ・ 無
 認識の方法との相違の有無

(内容)

法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況

(内容)

連結(新規) 4社 持分法(除外) 6社

2. 平成 16年 3月期第3四半期の業績概況 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 12月 31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注) 金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年 3月期第3四半期	372,303	12,259	7,422	3,911
(参考)15年 3月期	513,535	26,399	16,052	8,120

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
16年 3月期第3四半期	4 61	4 32
(参考)15年 3月期	9 61	8 99

(注) 当期より四半期業績の概況開示を行っているため、前年第3四半期の実績および増減率については記載しておりません。

(2) 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等

当第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日まで)の経営成績は、売上高3,723億円、営業利益122億円、経常利益74億円、当期純利益39億円となりました。

売上高につきましては、一部の機械製品の売上計上時期の遅れや石炭の供給不足による輸入炭の販売数量減少等により、やや低調でした。

営業利益につきましては、機械製品の売上減、原料価格高止まりによるコストアップ等により不振でありました。

経常利益、当期純利益につきましても営業利益低迷の影響を受けました。

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂

売上高は1,112億円、営業利益は3億円となりました。売上高はほぼ計画どおりでしたが、営業利益については、ナフサ・ベンゼン等原料価格の高止まりによる影響等により赤字となりました。

機能品・ファイン

売上高は459億円、営業利益は41億円となり、売上高、営業利益ともほぼ計画どおりとなりました。

エネルギー・環境

売上高は113億円、営業利益は8億円となりました。売上高は、世界的な石炭の需給逼迫により、販売用輸入炭を計画どおり確保できず、低調でした。

営業利益については、ほぼ計画どおりとなりました。

建設資材

売上高は1,299億円、営業利益は76億円となり、売上高、営業利益ともほぼ計画どおりとなりました。

機械・金属成形

売上高は701億円、営業利益は7億円となりました。売上高は一部の機械製品の売上計上時期の遅れ等により低調でした。営業利益については、売上計上時期の遅れに加え、アルミオイル事業が、米国事業会社での労働協約をめぐる労働争議の影響により不振であったこと等により赤字となりました。

その他

売上高は35億円、営業利益は7億円となり、売上高、営業利益ともほぼ計画どおりとなりました。

なお、当社単独の当第3四半期の業績は、売上高1,662億円、営業利益84億円、経常利益50億円、当期純利益21億円となりました。

(3)財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年 3月期第3四半期	728,932	103,828	14.2	119 69
(参考)15年 3月期	745,890	96,161	12.9	114 55

(4)財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

当第3四半期末の総資産は現金及び預金の圧縮、不動産の流動化による有形固定資産の減少などにより、前期末に比べ169億円減少し、7,289億円となりました。

負債については有利子負債の削減などにより253億円減少し、6,079億円となりました。

株主資本については、株式交換に伴う資本剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加などにより76億円増加し、1,038億円となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

連結（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回発表予想（A）	507,000	17,000	8,000	16,000
前回発表予想（B） （平成15年11月18日発表）	517,000	25,000	17,000	9,000
増減額（A - B）	10,000	8,000	9,000	25,000
増減率（%）	1.9%	32.0%	52.9%	-
（参考）前期実績（平成15年3月期）	513,535	26,399	16,052	8,120

単独（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回発表予想（A）	224,000	11,000	5,000	11,000
前回発表予想（B） （平成15年11月18日発表）	228,000	14,000	8,000	4,000
増減額（A - B）	4,000	3,000	3,000	15,000
増減率（%）	1.8%	21.4%	37.5%	-
（参考）前期実績（平成15年3月期）	229,272	12,148	6,644	4,058

平成16年3月期一株当たり期末配当予想の修正

	期末配当金	年間
今回発表予想（A）	無配	無配
前回発表予想（B） （平成15年11月18日発表）	3円 00銭	3円 00銭
（参考）前期の一株当たり配当金額	3円 00銭	3円 00銭

業績予想に関する定性的情報等

平成16年3月期末までの残された3か月間も引き続き、ナフサ・ベンゼン等原料価格の更なる上昇、石炭の需給逼迫、円高など、当社をとりまく事業環境は一層厳しくなっております。

また、米国Alkyl事業会社での労働争議が、本年1月半ばに解決をみたものの、争議中の生産性低下などによる業績への影響が大きかったことなどにより、通期でも前回発表予想に比べ大幅な減収減益を予想しております。

一方、早期の財務体質強化を図るため、当期より固定資産の減損に係る会計基準を適用することとしました。これに伴い、多額の減損損失を特別損失に計上することを見込んでおります。

この結果、通期の当期純利益は連結、単独とも大幅な赤字と予想し、配当については無配と修正致します。

連結

売上高については、石炭の販売減、化成品・樹脂セグメントの販売減を主因として減少の見込みです。

営業利益については、ナフサ・ベンゼン等原料価格の上昇、機械事業のコスト増・円高等による採算悪化及びアルミホイル事業の生産性低下等による減益を主因として減少の見込みです。

経常利益については、米国アルミホイル事業会社での労働争議に伴う異常操業損失等による営業外損益の悪化が予想されますので、営業減益に比べ減益幅が拡大する見込みです。

当期純利益については、固定資産の減損に係る会計基準適用に伴う多額の減損損失を特別損失に計上するため赤字の見込みです。

単独

売上高については、連結と同様な理由で減収の見込みです。

営業利益については、原料価格の上昇等による化成品・樹脂セグメントの減益を主因として減少の見込みです。

経常利益については営業利益の減少等により減益の見込みです。

当期純利益については、固定資産の減損に係る会計基準適用に伴う多額の減損損失を特別損失に計上するため赤字の見込みです。

なお、今回修正予想での特別損益の主な内容は以下のとおりです。

(単位：億円)

	連結	単独
減損損失	180	90
投資有価証券評価損等	10	120
土地建物、有価証券売却益	60	50
固定資産処分損	30	30
その他	40	10
計	200	200

上記業績予想は、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますので、ご承知願います。

要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (平成15年12月31日現在)		前期 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現 金 及 び 預 金	23,981	3.3	50,366	6.8
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	133,630	18.3	131,346	17.6
た な 卸 資 産	83,351	11.4	69,578	9.3
そ の 他 流 動 資 産	23,196	3.2	23,783	3.2
固 定 資 産	463,892	63.7	469,970	63.0
繰 延 資 産	882	0.1	847	0.1
資 産 合 計	728,932	100.0	745,890	100.0
有 利 子 負 債	432,026	59.3	458,370	61.5
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	87,604	12.0	87,016	11.6
そ の 他 負 債	88,273	12.1	87,861	11.8
負 債 合 計	607,903	83.4	633,247	84.9
少 数 株 主 持 分	17,201	2.4	16,482	2.2
資 本 金	43,565	6.0	43,565	5.8
資 本 剰 余 金	13,241	1.8	9,606	1.3
利 益 剰 余 金	48,386	6.6	47,301	6.3
そ の 他	1,364	0.2	4,311	0.5
資 本 合 計	103,828	14.2	96,161	12.9
負債、少数株主持分及び資本合計	728,932	100.0	745,890	100.0

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕	前期 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕
	売 上 高	372,303
売 上 原 価	304,203	410,982
売 上 総 利 益	68,100	102,553
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	55,841	76,154
営 業 利 益	12,259	26,399
営 業 外 収 益	8,338	8,424
営 業 外 費 用	13,175	18,771
経 常 利 益	7,422	16,052
特 別 利 益	3,602	20,178
特 別 損 失	3,346	17,396
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,678	18,834
法 人 税 等	3,252	9,806
少 数 株 主 利 益	515	908
四 半 期 (当 期) 純 利 益	3,911	8,120

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

		当第3四半期	前期
売上高	化成品・樹脂	111,287	150,504
	機能品・ファイン	45,991	57,345
	エネルギー・環境	11,373	19,617
	建設資材	129,981	185,640
	機械・金属成形	70,132	95,281
	その他	3,539	5,148
合計		372,303	513,535
営業利益	化成品・樹脂	352	3,808
	機能品・ファイン	4,121	6,098
	エネルギー・環境	855	1,854
	建設資材	7,693	9,501
	機械・金属成形	737	3,968
	その他	725	1,115
	消去又は全社	46	55
合計		12,259	26,399

(注) 事業区分の変更

事業区分は、従来「化学」、「建設資材」、「機械・金属成形」、「エネルギー・環境」、「その他」の5区分で表示していたが、当社における経営組織の見直しに併せて、事業内容の実態がより明確に反映されるように事業区分の見直しを行い、セグメント情報の一層の充実を図るため、当期より「化成品・樹脂」、「機能品・ファイン」、「エネルギー・環境」、「建設資材」、「機械・金属成形」、「その他」の6区分に変更するとともに、関係会社の帰属する事業区分の見直しを行った。

なお、前期のセグメント情報は当期において用いた事業区分の方法に組替えている。